

三心を磨く

学校だより NO. 29

平成29年11月28日(火)発行

須坂市立東中学校

文責：金井勝久(教頭)

<http://www.azuma-school.ed.jp/>

第3回 学校運営委員会より

第3回学校運営委員会が、11月10日(金)に行われました。当日は、授業参観や給食の試食をしていただいたり、上半期の学校の活動についてご意見をいただいたりしました。

【学校からの報告にかかわって】

◇スマホなどを使った「いじめ」は、東中学校でも起こっているのか(わかりにくいようでもあるので)。東三校健全育成懇談会のように安全な使い方を学ぶ機会は、他にもあるのか

○スマホなどの使い方についての研修は、年に1回は設けている。スマホなどを使いたいじめは、ないわけではないと考えて指導に当たっている。網の目を広くして、把握に努めていきたい。

【通学路にかかわって】

◇待居橋の近くの「こまくさ牧場」が有害鳥獣のえさ場になっている。安全を考えて米子地区の保護者は、自動車での送迎をしている。最低でも、中学生は歩いて通学するのが本来の通学ではないか。市・教育委員会・学校でも、現場確認をし、正常な通学ができるようにしてほしい。

◇地域づくり推進会議でも、各種団体の声を聞いて、「住みよい仁礼」をつくろうとしている。通学に関しては、集落と集落の間が暗いという意見が出ている。住宅地図の上に危険箇所を記入し、市へ提出した。学校やPTAに任せるのではなく、地域からも声を上げていきたい。

【学力調査・アンケート・学習にかかわって】

◇各種調査の結果が報告されたが、昨年度よりも向上していると考えてよいのか。

◇授業がよくわかる」という生徒の数がとても多い。ICT機器などをうまく利用している成果と思われる。学力については、同程度に甘んずることなく、もっと上を目指してほしい。

○昨年度の全国学力学習状況調査では、すべて全国平均を下回っていたが、今年度は数学B以外、全国平均と同程度くらいである。学年ごとの上下はあるが、全体として右上がりになってほしい。「授業がよくわかる」と応えている生徒が多いので、それを定着につなげていきたい。

◇学習は小学校からの積み重ねが大切。仁礼小学校でも、夏休みの5日間の学習教室を図書館で行った。先週からは学習相談を始めた。月に2回、水曜日の放課後、職員会のあとに行う。東地域で、学力向上のために取り組んでいくことが大切ではないか。

○小学校には、基礎学力をつけてほしいとお願いをしている。生徒の中には基礎学力の定着が不十分な生徒もいるが、部活動を引き継ぎ、これから生徒会を引き継ごうとする中で、意識が変わってきている。学習に向かう姿勢も向上してきている。

【授業参観にかかわって】

◇少人数のグループ学習は、我々の頃にはなかった。得意な人もいれば、そうではない人もいる。仲間で教え合うことは非常にいいと感じた。

◇授業参観は久しぶり。今の授業は昔とずいぶん違う。恵まれている一方で、そろいすぎているのではないか。各学年、それぞれの成長を、活発さや話し方、話す内容から感じた。

◇少し前の東中は荒れていたと聞いている。しかし今日の授業を見ると、とても落ち着いて学習に取り組んでいた。ICTや少人数の学習が全クラスで活用されていた。授業がよくわかると答えた生徒が90%を超えているのは驚異的な数字だ。学校よりも、去年1年間で、36、7回出ている。東地区のみ、公民館で配っているが、月2回の配付では間に合わないくらいだ。

○学校よりも、地域の方々に学校の様子を知ってもらうために配付をお願いしている。これからも、地域のみなさまに学校の様子を知っていただけるようにしたい。

◇授業内容が、前もってきちんと準備がされ、図解的で、視覚的でよくわかった。小グループでの教え合いもよかった。昔は、理解できていなくてもそのまま終わってしまったが、教え合うことでそれも解消できる。教師から生徒への一方通行の学習ではなく、双方向の活発な学習だった。

○考えさせるところはグループで考え、教えるべき所は教師がしっかり教える。理解している生徒にとっても、その反応を見ながらどう教えるか考えることでさらに理解が深まっていく。

◇数年前までとは違い、生徒が落ち着いている。現役の親として、今の東中学校の生徒はいい環境で学べていると思う。今の東中は、先生方が面白い授業に向け努力している。そのことが学力向上につながっている。面白いから、聞くし、考える。しっかりやろうという気持ちになる。

◇しっかり授業をやり、意見交換や教え合いが活発だった。しかし、少しうるさいクラスや教室があまりきれいではなく、雑巾が落ちていたところもあった。そういう基本的な生活の部分が、学習・学力にもつながっていくのではないか。

◇生徒がとても活発に学習している。まず、授業が面白い。これはICTの力と先生方の努力の賜物だ。しかし、1時間内でまとめまでいかなくて終わってしまう授業もあった。さらに授業力を向上させてほしい。廊下の学力アップドリルが準備されていることもすごい。こういう努力が学力の底上げにつながっていく。音楽会も素晴らしかった。職場に、校歌を四部合唱にしたときの生徒がいるが、校歌を四部合唱にしたことは、今でも当時の生徒の印象に残っているという。

◇かつての一方的に教えられていた時代から、参加型の授業に変わってきている。視覚的に飽きない工夫もあった。ただし、漢字の書き方などは、先生がその場で板書した方がいいように思う。ICT機器に頼りすぎないで効果的に使うことが、授業の質を向上させるのではないか。

○説明できることは、その生徒の理解のバロメータになると考えている。同時に、説明することで理解が深まり、力がつくものだ。

◇今、企業の社員教育もグループ分けをして行っている。グループディスカッションは、社会に出ても非常に大切なこと。人が10人集まると、Aグループ「1つのことを聞いて1つ以上のことがわかる人」が3人、Bグループ「1つのことを聞いて1つのことがわかる人」が4人、Cグループ「1つのことを言っても1つのことがわからない人」が3人とされている。企業では、Aの人をCの中に入れる。そうするとAの人に引き上げられてCの人も力を発揮するが、そうすることでAの人もますます力をつけていくそう。自分が理解していることを、集団の中で生かしていくのはとてもたいへんだが、社会に出て大切なこと、優良企業と言われるところがやっていることを東中学校はやっている。

◇ICT機器、特にタブレットを活用することとグループ学習を行うことで、効果が出ている。学校を卒業しても、コミュニティーをつくるのが苦手な人が多い。コミュニティーをつくれないとせっかくの知識も生かせない。コミュニティーをつくる力をつけていくことが必要だ。授業をつくるために、先生方はどのくらいの負担を感じているのだろうか。そういうところで私たちが協力できるとよい。

※約1時間の意見交換でしたが、運営委員さんよりたくさんのご意見をいただきました。
これからの学校運営に生かし、東中学校の生徒たちに還元していきたいと思えます。